

関西支部総会風景

副会長 川 添 正 實 (法3回卒)

今回も総会風景をお話ししましょう。

平成六年度総会は、十一月十八日太閤園のゴールデンホールで開催されました。

本部より荒木会長、東京支部より九鬼会長の御出席をいただき、来賓五名を含め七十名の参加でした。

今回より5回生北森信行常任幹事が事務局長として兼任されましたがまさに「名伯楽」幹事も数回重ねましたが和気あいあい、脱線しがちな谷会長以下の幹事を楽し気に操る手腕は見事でした。

そして総会は、13回生佐々木興三君の総会司会で運ばれ、余興の部は14回生三好邦雄君の進行でしたが、この二人がまた吉本興業的な絶妙のコンビ!! さらに二次会として蔵の間のカラオケ大会が設置されましたが、この司会は14回生の永松健司君が担当、36名の参加があり、恩師中川教授の絶唱をはじめとして先輩後輩入り乱れて、ウタありシャベクリあり、呑み且喰っての盛況でした。

大世帯の東京大会の盛大さには及びませんが、家族的、関西的賑やかさという内容の濃さ(騒がしさ?)が同窓会の意義を補ってくれているのでは……と書いています。

「次回は必ず……」という声も多く、前途は明るいと考えていますが、平成卒の若者を探して参加しやすいようにという「こころくばり」の工夫をしなければ、という思いを反省点としています。

さて、今回の余興のひとつを紹介しましょう。

前回までは大久保幹事のリードで、ジャンケン大会、ビンゴゲームで騒ぎましたが、今回はマルカバツかのクイズ大会でした。一問毎に「マルカバツか!!」と言うと強請する三好君の声に、「そんなのワカルか!!」という絶望的な声がとびかい、カンニングしようにもどれが正解やら

わからない。教授連も四苦八苦。容赦のない連射砲的質問を浴びせられて一同クタクタでした。

因に、百点正解者はゼロというメダタさでした。高得点者から賞品を手にして喜々としている様はいつもの通り。

サア、皆さんも挑戦してみてください。

一 阿蘇五岳に、米塚は入っているか。

二 高岳の高さは、一九五二米である。

三 通潤橋は石橋で、中を水が通っていて対岸の高い所へ送水している。

四 スイカの生産は日本二位である。

五 熊本県の魚、車海老は生産日本三位である。

六 熊本県にはヒターンアドバイザー制度というものがある。

七 肥後の赤牛は約一万頭いる。

八 全国的に名高い馬刺しは、馬がいなくなった為、本当は赤牛の刺身である。

九 熊本県には出羽、羽黒山の二四四六段に次ぐ石段がある。

十 ミフネザウルスという恐竜の化石があった。

最後に一言、今回より同伴出席を奨励したところ四組ありました。いいものです。次回はもっともっと増えると思います。

それから巻頭言は20回生上田和之君が三年ぶりに復帰、絶叫してくれました。

クイズの答え

1 × 2 × 3 ○ 4 × 5 × 6 ○ 7 × 8 × 9 × 10 ○

(なぜか?ということはこの際、熊本を想って勉強してみても如何)